公開シンポジウム

チェルノブイリと福島の観測から考える 森林の放射性セシウムの今後

Envisage the Future of Fukushima Forests

日時： 2017年7月12日（水）14:00–17:00

会場:（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所 大会議室

プログラム/Program

1. はじめに (Opening Remarks) 14:00-14:10

2. Dr. Yves Thiry（イヴ チリー博士：フランス放射性廃棄物管理公社）
   14:10-15:10
   汚染された森林における放射性セシウム循環の概説
   Biogeochemical cycling of radiocesium in contaminated forest: an overview

3. ポスター展示 (Poster presentation)
   15:10-15:40

4. Prof. George Shaw （ジョージ ショー教授：ノッティンガム大学）
   15:40-16:40
   ヨーロッパの森林におけるセシウム—核実験から50年、チェルノブイリから30年
   Cs in European Forests — 50 years after nuclear weapons testing, 30 years after Chernobyl

5. 総合討論 (Discussion) 16:40-17:00

発表は英語で行われますが、両氏にはできる限りわかりやすく話していただきます。また日本語での質問は通訳いたしますので、ぜひふるってご参加ください。

チリー博士、ショー教授ともにチェルノブイリ事故時に森林の放射性セシウム研究に精力的に取り組まれた代表的な研究者です。チリー博士は福島事故後にフランスチームの一員として日本の森林で観測を行っています。ショー教授はチェルノブイリでの観測を再開され、最新のチェルノブイリの状況を明らかにされています。

JR常磐線（牛久駅）から
牛久駅から路線バス「森林総合研究所」で下車
所要時間：牛久駅～森林総合研究所間 約10分
つくばエクスプレス（つくば駅）、高速バス（つくばセンター）から
つくばセンターからタクシー： 所要時間 約20分、約10km

参加ご希望の方はお名前・ご所属・参加人数をメールにてご連絡ください
事務局： Cs2017FFPRI@ml.affrc.go.jp

電話でのお問い合わせは森林総合研究所 橋本（029-829-8227）

主催:（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所